



馬場みさ子さん



實吉安仁さん



**實吉** 四季の移り変わりなど、自然を詠むことが多いです。田植えの後、早苗が大きくなり、稲穂をはらむ…大崎町には良い題材がたくさんあります。日常生活で感じたことを書き留め、夜に考えています。あまり難しく考えず、上手いや下手ではなく、自分で感じたままに詠えば良いと思います。歌会は和気あいあいとしており、毎月楽しみにしています。

**馬場** 私にとって短歌とは「自分の生きざま」だと思います。歌にすることで改めて気持ちの整理ができています。31文字に凝縮できることは素晴らしいと思います。ひとことひとことが味わい深く、短歌が人生を豊かにしてくれます。同じ兼題でも、詠っている人のドラマが感じられて奥深いなと思います。

**山下** 自然詠、生活詠、心象詠、写生をよく詠います。大崎町は、題材に恵まれています。それを、自分が短歌にどう結びつけるかだと思います。私にとって短歌は、「言の葉遊び」「自分を表現できる」「私の人生」です。推敲すいこうをするので脳トレになり、毎日、日記の代わりにつくっています。一首できなくても半分だけできるときもあります。月1回の歌会は、仲間と笑い合うことで脳まで活性化され、元気が出ます。

**井元** 入会して1年目です。素人で分からないことが多いですが、歌会では皆さんに表現方法を教えてもらい、新しい言葉に出会い、31文字に表現する難しさや奥深さを感じながら参加しています。短歌を始めてから、ささやかな日常が短歌の題材に溢れているように感じ、物事を興味深く観察するようになりました。



井元かず子さん

山下海征さん



徳園芳江さん  
(101歳、入会して30年以上)



**徳園** 言葉選びに悩み、1つの歌について数日考えることがあります。季節の農業のことや、ひ孫のこと、野球・相撲などスポーツのことをよく詠います。歌にしたい材料はたくさんあり、退屈することはありません。人の歌を読むことも好きで、その情景を想像しています。知らない人の歌でも、読めば生活や顔まで分かってくるような気がします。高齢になり、耳が遠くなり、歩くことも思うようにできなくなってきましたが、短歌は「心の拠り所」です。短歌のおかげで素晴らしい仲間にも出会えました。